

暑熱被害防止対策を行いましょ

向こう3か月の天候の見通し(名古屋地方気象台平成29年5月24日発表)

東海地方29年6月～8月 暖かい空気に覆われやすく、盛夏期には太平洋高気圧が本州付近に張り出しやすいでしょう。このため、向こう3か月の**気温は高い見込み**です。

7月は南から湿った空気が流れ込みやすく、**降水量は平年並か多い**でしょう。

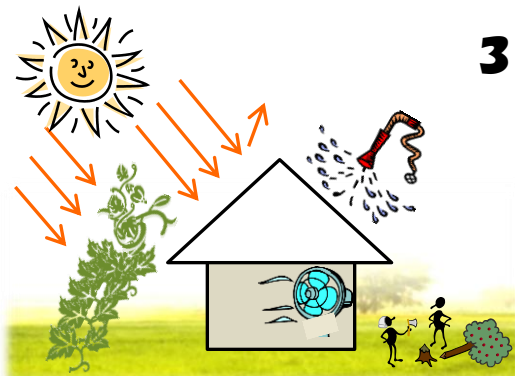
暑熱対策のポイント

1. 畜舎内に熱をためない

- ◆屋根、壁の断熱材の利用・点検
- ◆屋根・壁への石灰乳・白色系塗料の塗布
(屋根の熱侵入対策に断熱材)
- ◆屋根・運動場への散水器具の点検
- ◆日光をさえぎる緑のカーテン、寒冷紗、よしず等の準備・点検
- ◆畜舎回りの除草、剪定で風通しを確保

2. 餌と水のくふう

- ◆高エネルギーで嗜好性の高い飼料の給与
- ◆ビタミン、ミネラルの補給
- ◆涼しい時間帯の給餌
- ◆重曹の飼料添加
- ◆新鮮で冷たい水の十分な給与



3. 畜舎内の熱を追い出そう

- ◆換気扇、扇風機、ダクト送風機などによる送風
⇒体熱が蓄積される夕刻～夜間の送風が有効
- ◆細霧装置(水の気化熱による温度低下)の利用
⇒送風機との併用が効果的
- ◆熱発生量の少ない飼料の給与
⇒粗剛なものほど餌をかむ回数が増え発熱が多い
- ◆飼育密度の低下(夜間放牧の実施など)

4. 空調機器等の清掃、点検により運転コストを下げよう

- ◆空調フィルターは定期的に交換し、換気量を維持しましょう
- ◆送風機(ファン、モーター)についたクモの巣、ホコリを払いましょう
- ◆畜舎周囲に取り付けたネット(防鳥・防虫)のホコリを払いましょう
- ◆換気用の窓、換気口の開閉・修繕をしておきましょう

◎毎年ブロイラー農家で、換気扇・給水器の故障による被害が散見されます。事故のないように点検を行いましょ。



← 畜舎の構造にもよりますが、ペットボトルに氷を作り繁殖雌家畜の背中(首～肩)に滴下する方法も有効です。

